

ウィークリー・ブレッド・オブ・ライフ
(2023年3月27日(月)～4月2日(日))

岸和田聖書教会
牧師 栗原純人

「ブレッド・オブ・ライフ」とは「いのちのパン」(ヨハネ6:48)。イエスさまのこと。みことばでイエスさまを、その心を、いつもいただきましょう。

1. 静まります。昨日(今日)の一日の中で心に残っていることを思い巡らします。喜びも悲しみも、感謝もつらかったことも、腹が立ったことでさえも。ノートに書いてみましょう。
2. 声に出してその日の聖書日課を読みます。二回くらい読んでみましょう。
3. 気づいたこと、わからないことなどを箇条書きし、その後『みことばの光』、このブレッド・オブ・ライフの文章を読みます。気がついたことがあれば、さらに書きます。
4. もう一度聖書日課を読みます。
5. 祈りましょう。実際に声に出して。そして祈りの中心部分を書いてみましょう。一日の終わりに(次の日の終わりに)、みことばがどのように生きたか、思い巡らしましょう。

3月27日(月) 明日から福音交友会ティーンズバイブルキャンプ(中高生キャンプ)です。

今日の聖書日課：マルコ12:28～37

イエスは答えられた。「第一の戒めはこれです。『聞け、イスラエルよ。主は私たちの神。主は唯一である。あなたは心を尽くし、いのちを尽くし、知性を尽くし、力を尽くして、あなたの神、主を愛しなさい。』第二の戒めはこれです。『あなたの隣人を自分自身のように愛しなさい。』これらよりも重要な命令は、ほかにありません。」マルコ12:29～31

これが律法を、これが聖書をまとめたことば。神のみこころ。今、婦人会で十戒を学んでいますが、第一戒から四戒は神を愛すること、第五戒から十戒は人を愛すること。どちらも大事。ですが、流れがあります。神を愛し→人を愛するのです。神を愛し、神が愛している人を愛するのです。

3月28日(火) 今日からティーンズバイブルキャンプ。参加する中高生は26名。うち私たちの教会からは栗原主喜、戸口朝愛、田中和、田中大路の四名。スタッフは澤柚里姉、栗原愛姉です。

今日の聖書日課：マルコ12:38～44

イエスは弟子たちを呼んで言われた。「まことに、あなたがたに言います。この貧しいやもめは、献金箱に投げ入れられている人々の中で、だれよりも多くを投げ入れました。」マルコ12:43

金額ではないのです。彼女は「乏しい中から、持っているすべてを、生きる手立てのすべてを投げ入れた」のです(44)。しかし彼女とあなたには共通点があります。喜んで献げたということ。彼女は悲壮感漂う表情で銅貨を入れたのでしょうか？私はそうは思いません。生かされている感謝をもって喜んで献げた。そう思います。それこそ、イエスが喜ばれたことだったのではないのでしょうか？

3月29日(水) 祈禱会でもティーンズキャンプのために祈ります。講師は竹井祐一牧師です。

今日の聖書日課：マルコ13:1～13

人々があなたがたを捕えて引き渡すとき、何を話そうかと、前もって心配するのはやめなさい。ただ、そのときあなたがたに与えられることを話しなさい。話すのはあなたがたではなく、聖霊です。

マルコ 13 : 11

聖霊の働きと言われると、いまいちピンとこないということがあるでしょうか？しかし、このようなピンチのときこそ、聖霊さまは働かれるようです。自分の力でやっているときは、聖霊が支配する領域は狭く、自分の力ではどうにもならない、そんなときこそ、聖霊は働かれ、語られるのです。

3月30日（木） ティーンズキャンプ三日目。最後の晩には救いの招きがあります。

今日の聖書日課：マルコ 13 : 14~27

そのとき、人の子は御使いたちを遣わし、地の果てから天の果てまで、選ばれた者たちを四方から集めます。 マルコ 13 : 27

今、読んでいる 13 章はいわゆる「終末」について。戦争、地震、飢饉、迫害、にせキリストの出現。そして「太陽は暗くなり、月は光を放たなくなり、星は天から落ち、天にあるもろもろの力は揺り動かされます。」(24~25)。本当に恐ろしく、悲しいことばかり。けれど、その向こうに「人々は、人の子が雲のうちに、偉大な力と栄光とともに来るのを見ます。」(26)。そして冒頭の聖句。「選ばれた者たち」とはイエスを信じ救われた者たち。あなたであり、私です。このゴールをはつきりと見失わないでいましょう。最後には、ここに行きつくのです。

3月31日（金） ティーンズキャンプは今日で終わり。みんな日曜日に教会に来れますように。

今日の聖書日課：マルコ 13 : 28~37

天地は消え去ります。しかし、わたしのことばは決して消え去ることがありません。

マルコ 13 : 31

終末においては天地が消え去ります。すべてが消えてなくなる。しかし、イエスのことばは消え去らない。主のことばを聞く者も。みことばを聞く交わりも消え去りません。いつまでも続くみことばの交わりを大切にしましょう。

4月1日（土） 4月になりました。新しいことを主に期待します！

今日の聖書日課：マルコ 14 : 1~11

彼女は、自分にできることをしたのです。埋葬に備えて、わたしのからだに、前もって香油を塗ってくれました。 マルコ 14 : 8

今しかない。今しかできない。これを逃したらもう後には戻れない。そんなときを彼女は見ていました。12 弟子たちはイエスの受難の予告を聞くと耳をふさぎ、違う話題に移ってしまいました。しかし彼女はしっかりとイエスのことばを聞いていました。聞いていたから「埋葬に備えて」イエスのからだに香油を塗ったのです。この女の弟子の姿から学ばされます。

イエスさまに、よく聞いていますか？いつやるの？今でしょ！

4月2日（日） 受難週の最初の日「棕櫚（しゅろ）の主日」。

今日の聖書日課（礼拝説教箇所）：マルコ 14 : 12~25「最後まで愛する」

「最後の晩餐」の箇所。イエスがパンを裂かれたとき、そこにはイスカリオテのユダもいました。どこまでも愛されるイエスさまの姿を追いかけてみましょう。